

長時間の脱水、放置はしわの要因に

～形態安定加工ワイシャツの洗濯方法～

近年、ワイシャツは形態安定加工が主流となり、アイロンの手間が軽減されています。しかし、洗濯の仕方によってはしわの発生に差があり、特に綿100%の場合はしわが発生しやすく、形態安定加工が施されていてもアイロン仕上げを行う消費者が多いようです。

そこで、脱水や干し方などの洗濯工程の条件がしわ発生にどのように影響するかを検証しました。

テスト方法

綿100%のワイシャツ3銘柄（未加工1銘柄、形態安定加工2銘柄）を洗濯し、次のA～Cの方法で仕上げ、それぞれ「しわの評価」「アイロンの必要性」について官能評価しました。また、形態安定加工ワイシャツは洗濯を繰り返していくうちに、しわが発生しやすくなるという声があることから、洗濯10回後と30回後の検体を用いてテストしました。

A. ぬれ干し

すすぎが終わった後、脱水せず、そのままハンガーにかけて吊り干し

B. タオルドライ

すすぎが終わった後、脱水せずバスタオルで挟み、しずくがしたたり落ちない程度の水分を取り吊り干し

C. 脱水15秒

15秒脱水後、ただちに取出して吊り干し

D. 脱水12分

12分脱水後、ただちに取出して吊り干し

E. 脱水15秒後放置

15秒脱水後そのままの状態ですべて1時間放置、その後取り出して吊り干し

F. 脱水7分後放置

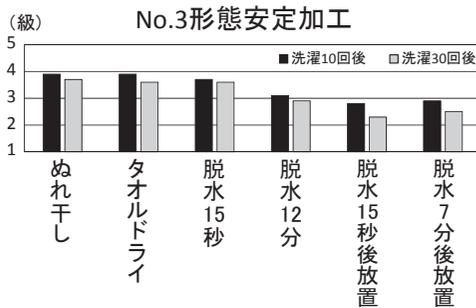
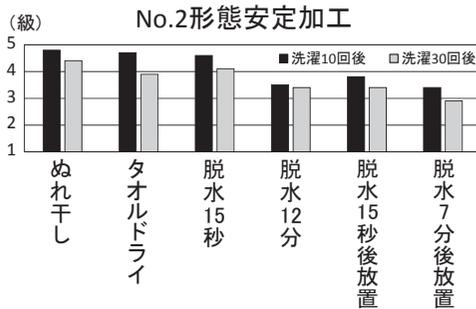
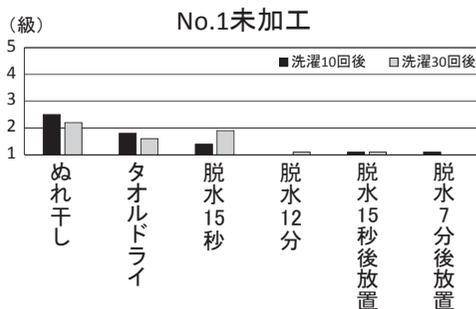
脱水7分後そのままの状態ですべて1時間放置、その後取り出して吊り干し

テスト結果

〇しわの評価

アパレル製品等品質性能対策協議会（以下、アパ対協）で作成された形態安定加工ワイシャツの基準で評価しました。

洗濯後にできたしわを5～1級のしわのレプリカ（複製）と比較して評価するもので、数値が大きいほどしわが少ないと評価されます。基準では洗濯10回後の評価を3.2級以上、洗濯20回後の評価を3.0級以上としています。



○アイロンがけの必要性

洗濯後のしわの状態を観察して、モニター8名でアイロンがけが必要かどうか判定しました。

アイロンがけは必要ないと答えた人数

No.	加工	洗濯	ぬれ干し	タオルドライ	脱水15秒	脱水12分	脱水15秒後放置	脱水7分後放置
1	未加工	10回後	0	0	0	0	0	0
		30回後	0	0	0	0	0	0
2	形態安定	10回後	8	8	8	7	8	6
		30回後	8	8	8	4	5	3
3	形態安定	10回後	7	8	7	4	3	3
		30回後	8	8	8	4	0	0

・洗濯10回後と30回後を比較すると、30回後にしわの発生が認められる傾向がみられ、アイロンがけが必要と回答するモニターが増える傾向にありました。

・No.1は未加工のため、最も評価の高かった「ぬれ干し」でも2.5級と低く、全体的にこじわが残りました。アイロンがけの必要性についてもモニター全員が全ての条件で「アイロンがけが必要」と回答しました。

・形態安定加工のNo.2は「ぬれ干し」「タオルドライ」「脱水15秒」のしわの評価が高く、全てアパ対協の基準以上であり、ほとんどしわが発生しませんでした。アイロンについてもモニター全員がアイロンがけは必要ないと

写真1 →
脱水15秒 (No.3)



←写真2
脱水15秒後、1時間放置 (No.3)

回答しました。No.2は形態安定性能が高いと考えられますが、「脱水12分」「脱水15秒後放置」「脱水7分後放置」ではしわの評価が下がり、アイロンがけが必要と回答するモニターも増える傾向が認められました。

・形態安定加工のNo.3は「ぬれ干し」「タオルドライ」「脱水15秒」のしわの評価は3.6級以上と高く、全てアパ対協の基準を満たしていました。アイロンがけの必要性についても9割以上のモニターがアイロンがけは必要ないと回答しましたが、「脱水12分」「脱水15秒後放置」「脱水7分後放置」ではしわの評価が下がり、いずれもアパ対協の基準に満たない数値となりました。アイロンについても洗濯30回後の「脱水15秒後放置」「脱水7分後放置」ではモニター8名全員がアイロンがけが必要と回答しました。

消費者へのアドバイス

・テストの結果から、形態安定加工があっても脱水時間が長い、脱水後の放置時間が長いなどの処理でしわが固着し形態安定性能を保持できなくなる場合があることが分かりました。一方、水分を多く含んだ状態ですばやく仕上げる「ぬれ干し」「タオルドライ」「脱水15秒」はしわの発生を抑え、アイロンの手間を省くのに効果的でした。

・「ぬれ干し」は水がしたたるので、干す場所の制約や乾く時間がかかるデメリットはあ

ります。その場合、バスタオルに挟んで水分が落ちない程度にして干す「タオルドライ」や脱水機で15秒程度の短時間で仕上げる方法も有効です。なお、脱水後の放置時間が長いとしわが固着してしまうので、脱水が終わったらすぐに洗濯機から取り出し、形を整えて吊り干しにしましょう。また、他の洗濯物と絡むことで発生するしわを防ぐため、洗濯ネットに入れましょう。